

2020年11月11日

各位

会社名 株式会社K i p s
代表者名 代表取締役 國本 行彦
(コード：9465 TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役 林 高史
TEL 03-4590-6605
URL <http://www.kips.co.jp/>

2020年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月14日に公表した「2020年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2020年12月期の業績予想につきまして、下記のとおりといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	133	△5	△8	1	0.45円
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期連結実績(2019年12月期)	91	△15	△15	64	16.13円

2. 連結業績予想数値の修正の理由

2020年12月期の業績予想につきましては、ベンチャーファイナンス事業の売上が、株式市況やIPO動向に伴って振幅し、合理的に見積もることが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報及び予測等に基づいて業績予想を算定しましたので公表いたします。

売上高につきましては、ベンチャーファイナンス事業において未上場の営業投資有価証券の売却が成立したこと、イベント・メディア事業においてZoomを利用した「オンライン事業計画説明会」を開催することにより、133百万円となる見込みです。

利益につきましては、営業投資有価証券の投資先の業績評価の見直しに伴う投資損失引当金の計上及び営業投資有価証券の一部売却に伴い、既に計上しておりました投資損失引当金の戻入を計上する一方、各種費用見直しによる販管費の抑制に努めておりますが、連結営業損失5百万円、連結経常損失8百万円となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、連結損益計算書上の当期純損失を11百万円と予想しており、連結子会社で生じる当期純損失のうち親会社以外の非支配株主に帰属する当期純損失が13百万円と予想していることにより、1百万円となる見込みです。

なお、配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

(注) 上記の業績予想及び配当予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後、業績予想及び配当予想の修正が必要と判断される状況となった場合には、速やかに開示いたします。

以上